

笹川保健財団 地域啓発活動助成

2021年 9 月 13 日

公益財団法人 笹川保健財団

会長 喜多悦子 殿

2020 年度地域啓発活動助成  
活 動 報 告 書

標記について、下記の通り活動報告書を添付し提出いたします。

記

活動課題

ご存知ですか！？暮らしを支える訪問看護

---

活動団体名： 株式会社咲希

活動者（助成申請者）名：石川 智子

## 1. 活動目的

地域の高齢者に訪問看護の普及を図る

## 2. 活動の背景、内容

訪問看護を利用し始めた方々から、度々「訪問介護は認知していたが、訪問看護のことは全く知らなかった」という意見があり「訪問看護のことをもっと早く知りたかった」という声もあった。地域で訪問看護の啓発活動に取り組まなければ、必要な時に訪問看護を利用できず、生活の質が脅かされてしまうのではないかと考え、潜在ニーズの高い地域の高齢者に「住み慣れた地域で暮らすための社会資源の1つ」であることを認知してもらうよう「ご存知ですか!?暮らしを支える訪問看護」と題したパンフレットを用い、訪問看護の普及を図った。

コロナ禍のため、集合形式の交流会を避け、地域の老人会に加入されている方(35名)を対象に、訪問看護の役割を紹介する資料を配布。感染予防対策を行ったうえで、老人会役員から老人会メンバーに配布・回覧した結果や感想等を確認した。

## 3. 活動の成果

「いずれ介護が必要になるので他人事ではない」と、訪問看護の関心が高い反応が多かった。また「家で看護を受けられるの?」という驚きや「どのライフステージでも必要時訪問看護が利用できることを初めて知った」という声があった。

全ての対象者に確認できていないが、半数以上の方が今回の配布資料で初めて訪問看護を知る結果となった。また「今後必要な時に相談窓口になってもらいたい。頼りにしている」という意見があり、訪問看護師が地域で身近な存在になる一歩になったのではないかと評価する。

## 4. 今後の課題

「失禁ケアで苦勞した方がいたので、その時に教えてあげたかった」という意見や、「どうしても介護とかヘルパーさんに馴染みがあるよ」という声があり①もっと地域の方々と看護師が「つながり」をもてるようにすること②今後も訪問看護が広く深く行き渡るよう計画的にアプローチすることを今後の課題とする。

## 5. 活動成果等の公表予定

なし